

富戸っ子

第13号
令和4年1月11日
伊東市立富戸小学校

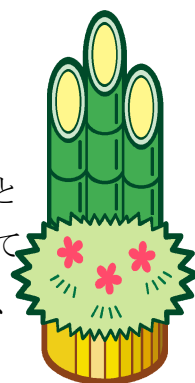
3学期、新年のことば

富戸小学校長 関野耕一

よい習慣を身に付ける

新年、明けましておめでとうございます。

いよいよ2022年（令和4年）が始まりました。子供たちも新たな気持ちで3学期を迎えたことと思います。「こんなふうになりたい」「こんなことをしてみたい」「こんなことができるようにしたい」いろいろな思いをもっていると思います。そんな中、ご家庭でも「よい習慣」を身に付けられるよう、お願いします。



「習慣」とは、何度も繰り返し行う間に、状況に応じて安定化し、そうすることがきまりのようになったことです。「習慣」には2つの特徴があると思います。

一つ目は、「習慣」をしなかったら「何となく嫌だな」と思ってしまうことです。例えば、毎朝、歯磨きや洗顔が習慣になっている人は、それをしないで外出すると「何となく嫌だな」と思います。家族に「おはよう」とあいさつするのが習慣になっている人は、機嫌が悪くてあいさつしなかったりすると、「何となく嫌だな」と気まずくなるものです。「何となく嫌だな」と思えるまでよい行動を繰り返していくことが大切です。

二つめは、「習慣」がその人自身を表しているということです。「〇〇さんは明るいあいさつができる人」「〇〇さんはいつも元気に運動する人」「〇〇さんは整理整頓が得意な人」など習慣がその人を説明することになっています。習慣は、大人になっても、自分自身を表していくものとなります。よい習慣を身に付けていくことでよい印象を与え、信頼が増すことにつながります。逆により習慣が身に付いていないことは悪い習慣を身に付けてしまうことになることもあります。

よい習慣を身に付けるには時間がかかるかもしれませんが、気持ちの持ち方で自然に身に付いていくこともあります。学校生活の中でもよい習慣が身に付けられるよう職員一同努力していきます。

今年度も富戸小学校は家庭・地域との結びつきを大切にした教育活動を展開していきますので、ご理解とご協力をお願いします。

